



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.90
2018年 1月号

公益財団法人
School Aid Japan
〒144-0043
東京都大田区羽田 1-1-3
TEL: 03-5737-2773
FAX: 03-5737-2793
<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

新製品登場！！

皆さんこんにちは。1月は農場に雨がほとんど降らなくなり、池の水が徐々に少なくなっていきます。農場横の道をダンプが走れば、赤い土ぼこりが宿舍の中まで舞い込んできます。今月 Farm 通信はSAJツアーの様子や、お米の脱穀、精米について、レモングラス精油加工品の試作品について報告したいと思います。



SAJ のレモングラス精油を使用したマッサージオイル

◇レモングラス精油加工品試作

シムリアップのある会社で、SAJ のレモングラス精油を使った製品を試作して頂くことになりました。作っていただいた製品は石鹸、マッサージオイル、蚊除けスプレー、リップバームの4品です。全ての製品にSAJのレモングラスが入っています。作っていただいた製品は、SAJFarmにご来場いただいたお客様に販売する予定です。まだパッケージのデザインや、製造レシピなど決まっていないことも多いですが、これから改善を重ね、完全な商品にしてから販売を広げていく予定です。



SAJ ツアーお土産販売所

◇SAJ ツアー

1月SAJのツアーが開催されました。日ごろ支援していただいている支援者の方や、SAJに縁のある方々がSAJFarmにご来場いただきました。SAJFarmの農場を周りながらレモングラスの説明や、農場スタッフの紹介、孤児院の農業実習の話、現在取り組んでいることなどを来場者様に説明しました。農場を周った後はお土産の販売会です。今回のツアーから初めて販売する新製品を並べました。売れ行きはまずまずといったところでした。更なるブラッシュアップを重ねて、飛ぶように売れるようにしたいと思います。最後に支援者の方々と記念写真を撮り、車のお見送りをしました。



精米機と農家さん。精米している様子

◇米脱穀、精米

稲の収穫が終わり稲を脱穀、精米しました。脱穀は脱穀機を持つ近隣の農家さんに依頼して、脱穀機を農場まで持って来てもらいます。脱穀機に稲の束を入れると中の羽が稲を細かく破碎し、粃は下に落ち、茎や葉は上部から排出されます。下から出てきた粃を集め袋に詰めます。袋に詰めた粃は一度乾燥させた後、精米機をもっている農家さんの家まで運びます。精米機は上から粃を入れると、米の表面が削られ、米ぬかと白米、破碎米に分かれて出てきます。白米破碎米は持ち帰り、米ぬかは精米代として農家さんにあげます。飼育している豚のエサに使うそうです。白米は全て孤児院で食べてもらう予定です。



刈払機アタッチメント。刈払機の刃の部分に取り付けます。

◇レモングラス収穫機械化

1月レモングラスの収穫をさらに効率よく進めるため、刈払機を収穫に利用するためのアタッチメントを購入しました。写真のアタッチメントを刈払い機の刃の部分に装着し、刈払い機でレモングラスの根元を薙ぎ払いながら、アタッチメントでレモングラスの倒れる方向を揃え集約しやすくします。鎌で一人ずつ刈って束ねていくより、刈る人間と集約する人間に役割を分け、仕事を分担した方が作業の効率が良いと考えました。また機械で一人ずつ刈った方が収穫した後の畑もきれいに残り、次にレモングラスの葉が伸びてきた時も、葉の長さが揃いやすいという利点もあります。今後も作業を効率的に改善していきたいと思います。



張り替えた休憩小屋

◇契約農家さん講習会

1月の農家さん向け講習会は、農家さんを SAJFarmへ呼び農場の様子を見て頂くことにしました。農家さんたちにまず農場の変化の様子、レモングラス畑の状態を見てもらいました。次に新しくできたレモングラスの新製品を見てもらい、これをカンボジア内で売っていくことなどを伝えました。農家さんたちはあまり使ったことのない製品のため、どうやって使うのかなど質問があり、サンプルを実際に使ってもらおうとレモングラスの良い香りがすると言って頂けました。最後に刈払機を実際に使ってレモングラスの収穫を体験してもらいました。実際使ってみると重かったなどの感想があり良い経験をしたと言って頂けました。